

2024

5.29 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_Qq1gQnonS2KcFd6oWUO2XA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

時間パターン認識の進歩と AI への影響

司会：キム シューマツハ 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



Key Words

人工知能

パターン認識

時間認識

時系列

シーケンス

イワナ ブライアン ケンジ 准教授

九州大学 システム情報科学研究所 情報知能工学部門



IWANA Brian Kenji 九州大学大学院情報科学研究科先端情報科学専攻准教授。彼は米国カリフォルニア州ミッションビエホで生まれました。彼は学士号を取得しました。カリフォルニア大学アーバイン校 (米国) でコンピュータ工学の博士号を取得。IWANA Brian Kenji は、学士号を取得した後、カリフォルニア州マウンテンビューにあるアメリカ航空宇宙局 (NASA) でソフトウェア開発者として働きました。彼は学界に戻り、博士号を取得しました。九州大学大学院電気情報科学研究科博士課程修了。九州大学決断科学大学院プログラムを卒業。以来、九州大学大学院電気情報科学研究科博士研究員、助教授、准教授を経て、現職。さらに、九州大学国際英語学部プログラム (IUPE) および九州大学未来共創リーダー育成プログラム _ ロゴマーク (GIPAD) に所属しています。彼は雑誌 Springer Nature Computer Science の副編集長であり、ICDAR、ICFHR、AAAI、ICPR、DAS などの多くの国際会議プログラム委員会の委員を務めてきました。彼の研究対象には、時系列認識、動的プログラミング、人工ニューラルネットワーク、文書認識、自然言語処理 (NLP) などがあります。

近年、人工知能 (AI) の分野は目覚ましい発展を遂げ、日常生活にも浸透しています。しかし、時間的パターン認識は、最近の多くの進歩の基礎であるにもかかわらず、見落とされがちな分野の 1 つです。時間的パターン認識は、時系列とシーケンスの認識です。さらに、画像認識やグラフ認識などの他の構造データ領域と同様に、時間的パターン認識には多くの困難な課題があります。このデータ型の認識は、信号、予測、自然言語処理 (NLP)、バイオインフォマティクス、センサーなどの多くのドメインにわたって重要です。このプレゼンテーションでは、人工ニューラルネットワーク (ANN) を使用した認識を含む、時間的パターン認識技術の背後にある基本原理を説明し、この分野の最近の進歩について説明します。さらに、時間的パターン認識が AI のより広範な分野に与えた影響と、他の分野やアプリケーションとの関係を検証します。